



せんだいメディアテークは開館10年を迎えます。

記者発表資料  
平成22年10月1日  
(担当) せんだいメディアテーク  
企画・活動支援室(清水有)  
(電話) 713-4483

## せんだいメディアテーク開館10周年事業 北川貴好による南側のガラス面を使った作品が完成

ケヤキ並木の美しい仙台市のシンボルロード・定禅寺通に面したメディアテークの建物のガラス面に、建物を梱包するように、大きな紙を張り巡らせた巨大な作品が完成しました。

これは開館10周年事業「いま、バリアとはなにか」の作品展示の1つです。

ダブルスキンと呼ばれる南側のガラス面は、約1mの空気層を挟んだ二重の構造で、メディアテーク建築の特徴のひとつです。このガラスの層の内側に、内外重ならないようにクラフト紙を張っています。

定禅寺通のランドマークとして親しまれているメディアテークの変貌をぜひご覧ください。

### 1 会期

平成22年10月1日(金)～12月26日(日)

### 2 会場

せんだいメディアテーク2階から7階の南側ガラス面

### 3 作家略歴

北川貴好(きたがわたかよし)

1974年大阪生まれ。1999年武蔵野美術大学建築学科卒業。1995年から環境や建物自体に手を加え空間そのものを新しい風景へと変換する作品を制作している。2000年、2002年、2006年取手アートプロジェクト、2008年黄金町バザール、2009年水と土の芸術祭、2010年愛知トリエンナーレなどに参加。

### 4 ホームページ

[http://www.smt.jp/how\\_barrier\\_is/exhibitions.html](http://www.smt.jp/how_barrier_is/exhibitions.html)



北川貴好  
ダブルスキンランドスケーププロジェクト  
2010年



南側の二重ガラス面(ダブルスキン)